

羅針盤 (進路便り)

京都市立梅津中学校
第21号
R8. 2. 2(月)

受験にむけて

2月に突入しました。京阪神の私立入試まで約1週間。いよいよ受験の日を迎えます。この1週間は体調をしっかりと整えて、気持ちにゆとりを持って当日を迎えるようにしましょう。「絶対に合格するんだ!!」という強い気持ちを持つことが大切です。お家の人とともに下記の内容をよく読んでみながら受験当日をイメージしてみましょう。そして今まで自分が取り組んできたこと、自分の力を信じて受験に臨みましょう。頑張れ梅中3年生!!



受験の心構えと準備

1. 試験日までの過ごし方

① 試験会場への道順や所要時間を確かめておく。

入試当日に試験会場へ行くのに迷ったりして遅れたら大変です。事前に試験会場までの道順をしっかりと確かめておきましょう。高校の場所や行き方はもちろん、特に、電車・バスを利用する場合は、時刻表などを利用して発車時刻、所要時間等をきちんと確かめておくようにしましょう。

※自家用車等で行く場合は遅刻の配慮はありません。注意しましょう。

10日(火)、11日(祝)、12日(木)です。間違えないようにしましょう。

② 当日の携行品を確かめ、一覧表にして必要なものを準備しておく。

※要項や受験票で必ず確認。各校で持ち物が異なります。

- ア. 受験票(受験番号は家にも控えておくこと)・受験についての諸注意のプリント
- イ. 筆記用具(鉛筆数本・消しゴム2個・鉛筆削り・定規など必要なもの)
- ウ. シャープペンシル可と書いてあっても、「芯ケース」はダメな場合もある。
- エ. 生徒証明書・腕時計(計算機能等のないもの)←教室に時計がないかもしれません
- オ. 交通費・ハンカチ・ティッシュペーパーなど
- カ. その他(上履き・お弁当・実技検査の道具などが必要な場合は必ず持参する)

当日、受験票を忘れたり紛失した場合のために受験番号を控えておきましょう。

募集要項や受験票の裏等を書いてある諸注意や高校からの「受験時の注意」等のプリントをよく読んで、当日に必要なもの(昼食の有無も)や試験の時間帯(集合時間や時間割が受験する科目によって変わる場合がある)なども前日には必ずもう一度確認しておくようにしましょう。

③ 直前の勉強は、要点に目を通すだけにする。

前日になって、あれもこれもと勉強しては、かえってあせりにつながります。今までにつくった整理のノートや参考書の要点に目を通す程度にしておき、心を落ち着かせるようにしましょう。

④ 体調を万全にしておく。

早寝・早起きをしましょう。食べ物は消化のよいものを食べ、特に風邪やインフルエンザなどに注意しましょう(うがいや手洗いをしっかりとるようにしましょう)。

1. 試験当日の心得

① 朝はいつもより早めに起きる。

人間の脳は、朝起きてから3時間後にならないと完全には働かないと言われています。

したがって試験が午前9時に開始なら、午前6時ごろには起きて余裕をもって朝食が食べられるようにしておきましょう。

② 用便は必ずすませておく。

なるべく家で済ませてから出るようにしましょう。試験中にトイレに行った場合途中入室出来ないことがあります。

③ 持ち物点検（2度目）。

昨日準備した物を、家を出る前にもう一度確認しましょう。

（受験票、筆記具、交通費、お弁当、必要であれば上靴や下靴を入れる袋など）

④ 試験会場に集合時間の30分前には必ず着けるように家を出る。

交通機関を利用する場合は、途中のバスや電車の遅れなども考慮して、時間に余裕を持って家を出るようにしましょう。降雪や事故などによる交通渋滞もあります。

⑤ 病気その他のやむを得ない理由で受験できなくなったときは、高校または中学校に連絡をしましょう。

（梅津中学校 075-882-0910 11日（祝）は中学校の電話はつながりません。）

2. 試験会場での注意

「面接」のあるなしにかかわらず、入試の日は、学校に着いたら試験中だけでなく学校を出るまで、さらには学校の外（駅や道なども）での行動も見られていると考えておきましょう。

① 服装や頭髪をきちんとする。

服装は登校時と同じもの。寒い日はジャンパーやコートなどの防寒着、手袋、マフラー等を着用して行ってもいいですが、室内では着用しないようにしましょう。整髪料はつけないように。

② 受験生用の掲示は必ずよく読むこと。

時間的余裕を持って会場に着いたら、掲示の指示をよく読み、トイレをすませて、試験会場の所定の教室で席について待つ。会場での集合などは高校の先生の指示にしたがって行動しましょう。

③ 受験票などを忘れてもあわてない。

受験票を忘れたときは、取りに帰らずに高校の受付（事務室）に申し出て指示を受けましょう。

④ 会場ではすべての行動を観察されている。

会場での行動はすべてが面接試験と考え、慎重に行動すること（試験中の教室や控え室はもちろん、トイレや廊下でも）。特に、他校生とのトラブルは絶対に起こさないこと。面接試験のない学校では、試験時や休憩時の態度や行動を見られています。

⑤ 試験会場ではまずは落ち着く。

試験会場ではまずは気持ちを落ち着かせましょう。他人の話などにあまり巻き込まれないで、静かに問題が配られるのを待つようにしましょう。

⑥ 最初に受験番号と氏名、やさしい問題から取り掛かる。

試験が始まれば、まず受験番号と氏名をきちんと書きましょう。難しい問題は後回しにし、やさしい問題から解いていくと自信がでてきます。最後は必ず見直しをしましょう。問題用紙が持って帰れる場合は問題用紙に答えを書きこんでおきましょう。（後から答え合わせができるように。）

⑦ 試験中の私語、用具の貸し借り、不正行為は絶対にしない。

試験監督の先生は君たちを写真と見比べながら観察しています。不正行為と疑われる行動（試験中にしゃべったり、キョロキョロしたり、机の中から勝手に消しゴムなどの物（問題用紙や答案も）を出し入れするなど）を絶対にしないのはもちろん、くれぐれも試験中に寝る（そう見える）などの行動がないように注意しましょう（もし早くできても、試験中に寝たりしない。終了の合図までしっかり見直しをする）。

⑧ 試験中に気分が悪くなったら、早めに申し出ること。

⑨ 翌日に面接等がある場合は、必ず日時などを確認しておき、指定の日時を間違えないこと。

⑩ 試験終了後に、合格発表の日時、方法（掲示・郵送）などを正しく確認しておくこと。

⑪ 試験終了後はまっすぐに帰宅すること。家を出ればすぐに試験が始まっている。帰宅するまでが試験です。気を抜かないようにしましょう。